

【第7回 委員会の中での合意事項】

(1)用語の定義について

市民 市内に居住し、通学または通勤する個人及び市内において事業または活動を行う個人、法人その他団体をいう。(参考条例 瑞穂市まちづくり基本条例 他)

市 市議会及び執行機関をいう。(参考条例 岐阜市住民自治基本条例 他)

執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会(参考条例 豊田市まちづくり基本条例 他)

協働 地域又は社会の課題の解決を図るため、市民が相互に、又は市民と市がお互いの立場を尊重し、お互いの不足する部分を補いながら、ともに協力して取り組むことをいう。
(参考条例等 郡上市市民協働指針、岐阜市住民自治基本条例 他)

まちづくり いつまでも住み続けられる地域を作るために、市民主体で課題を解決し、より良い地域を目指す活動全般をいう。

住民自治 市民自らが参画し、協働し、まちづくりを主体的に進めることをいう。
(参考条例 岐阜市住民自治基本条例)

(2)用語の定義として掲載はしないものの条例の逐条解説等に掲載をするもの

自治会 地域内の全世帯を組織する住民自治組織の代表である。地域住民の合意形成を行う役割の他、住民同士の親睦と絆づくり、地域文化の伝承と創造、地域課題の解決などのさまざまな役割を担う。(参考条例:郡上市自治会等市民組織活性化方針)